

ペガサス新病院建設計画に伴うお知らせ

TOPICS 3 社会医療法人ペガサス
新たな管理棟完成新病院建設計画に先行し、管理棟を建設。
令和4年7月より稼働させています。

馬場記念病院では、新病院建設(現地エリアでの建て替え)計画を、現在、進行させています。病院本体の工事に先行し、当院すぐ近くの職員専用駐車場の敷地に、管理棟を新たに建設し、令和4年7月より稼働させています。新しい管理棟は3階建て。1階は職員サポートに関連する部署が、2階には脳神経外科を除く総合医局、診療科部長室、職員用図書室などが、3階には院長室、会議室などがあります。患者さまやご家族には、直接関わりがない管理棟ですが、職員たちは、皆さまへのより質の高いサービス提供をめざし、気持ちを新たに、自らの業務に取り組んでいます。

TOPICS 4 社会医療法人ペガサス
第3駐車場閉鎖・臨時駐車場のお知らせ新病院建設計画に伴い馬場記念病院の
第3駐車場を閉鎖、臨時駐車場を整備。

馬場記念病院、ペガサスクリニックなどに来院いただく方々にご利用いただいております第3駐車場が、馬場記念病院の新病院建設計画に伴い令和4年9月12日をもって閉鎖となりました。代わりに臨時駐車場をご用意いたしました。従来より少し離れており、ご負担をおかけいたしますが、そちらをご利用ください。尚、第1、第2駐車場はこれまで通りご利用いただけます。皆さまにはご負担をおかけいたしますが、ご理解、ご協力いただければ幸いです。



介護支援専門員・相談援助職・介護従事者向け ペガサス リモート セミナー 参加費無料

「新型コロナウイルス起案戦勝患者の入院中の取り組みと退院支援」

●講師：馬場記念病院 副看護部長 高橋良美／退院支援看護師 吉田礼子

「嚥下評価の方法」

●講師：馬場記念病院 言語聴覚士 中津有規

●開催日：2022年12月7日(水)

16時～17時

お問い合わせ／
馬場記念病院 入退院管理センター
072-265-7447 (吉田まで)
pegasus.pfm@gmail.com

お申し込みはQRコードから▶

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。 お問い合わせ／072-265-6006

ペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは
150種類以上。
大幅な値下げも
実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサوندهー

開催予定

【開催日】(予定)

12/4(日)

1/15(日)

【開催時間】

9時～16時

【お問い合わせ】

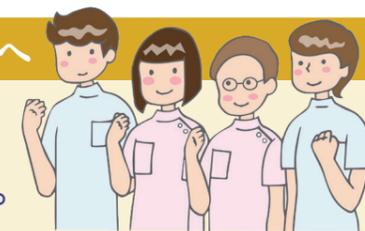
TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和4年11月18日

Vol.104

ペガサスから地域のみなさまへ

ペガサス大阪南看護学校の看護実習。
学生たちは臨床現場で貴重な12日間を送りました。

- 3病院が感染予防対策を徹底して講じ、
- 名の学生を受け入れ、密度の濃い実習を展開。

ペガサス大阪南看護学校では、令和4年9月5日～21日までの12日間、2年生85名の看護実習を行いました。実習先は、大阪南医療センター、社会医療法人ペガサスの馬場記念病院(地域医療支援病院)、ペガサスリハビリテーション病院の3病院。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底して講じたなか、学生たちは密度の濃い12日を送ることができました。

今回の実習目的は、「健康障害を持つ対象(患者)を理解し、看護過程のプロセスを踏みながら、対象の基本的欲求の充足に向け、日常生活援助ができる」こと。そのための課題は、対象者の基本的欲求の情報収集、その情報に基づき日常生活上の問題点抽出、看護計画の立案・実践・評価・修正・看護実践というプロセスを踏むことでした。



- 患者さまに寄り添い、患者さまを見つめ、
- 患者さまに最適な看護を考え実践する大切さを学ぶ。

看護実習を終えたあとの10月12日、反省会として「実習まとめの会」を開催。グループに分かれ、実習での学びを発表しました。その内容は、「根拠と目的を持った観察・コミュニケーションが大切」「患者の全体像を把握する」「ADL(日常生活動作)を把握し、変化に応じて看護計画を立案・援助する」「より具体的な計画立案が重要」など、学びの充実ぶりを物語るものでした。



実際の臨床現場に立ち、学生たちには、看護の知識・技術・態度の成長に繋がる貴重な12日間となりました。

▶実習生を受け入れる側であるペガサスグループより。
私たちは、地域医療の明日を支える人材育成を見つめ、これからも最大限の支援を続けていきます。

看護実習に参加した学生からのレポート

コミュニケーションと
寄り添う心の大切さを実感。

私は今回の看護実習で、大きく二つの学びを得ました。一つは、対象者(患者さま)とのコミュニケーションの大切さ。電子カルテにある情報だけではなく、実際にお話をすることで、入院前の状況や背景を知り、その生活に近づけていくことができる援助方法を考えることが、看護師の役割であると実感しました。

二つには、対象者の気持ちに寄り添う大切さ。どのような声掛け、援助がご本人の安心に繋がるのかを常に考え、そのための環境づくりがとても重要だと思いました。

対象者が持つ力を、最大限に活かすことができる看護実践を、これからも心がけていきたいと改めて考えました。

【松田 幸】

一人の力とチームの力、
両方の可能性を知った実習でした。

今回の看護実習で、僕はさまざまなことを学ぶことができました。まず、看護は対象者(患者さま)の状態や性格、時間の経過により数日で変わるということ。また、突発事項には臨機応変に対応すること。どちらも、対象者の状態や表情を読み取ることで、ご本人に負担をかけることなく、安全・安楽に日常生活援助ができることを学びました。

また、カンファレンスでは、グループによる情報共有で、自分一人では思い付かなかった観察項目、援助や援助方法に気付くことができると実感。今までよりも、対象者の個性に合った援助ができることを知り、チーム医療の大切さを少し体感することができました。

【西本凌輔】

このドクター、この治療 | **呼吸器科部長**

高村竜一郎医師に
お話を聞きました!

シリーズ
no.10

肺の生活習慣病と言われる COPD (慢性閉塞性肺疾患)。 あなたと家族を守るために早期治療に取り組みましょう。

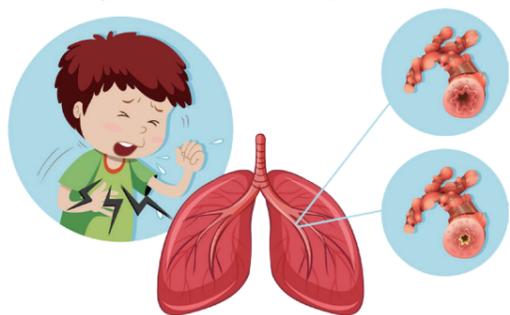
国内に約530万人の患者さまがいるといわれているCOPD (慢性閉塞性肺疾患)。これは40歳以上の人口の8.6%にあたります。非常に多くの方が罹患しているのですが、治療に取り組んでいるのは1割にも満たないといわれています。今回は、病気の原因や治療をしないことのリスクなどについてご紹介します。



profile 高村 竜一郎
馬場記念病院 呼吸器科部長、日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医、日本呼吸器学会 呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医、日本医師会 認定産業医

COPD (慢性閉塞性肺疾患) とはどんな病気

COPDとは、気管支が炎症を起こし狭くなることで、呼吸がしにくくなる病気です。進行すると肺胞が破壊された状態の肺気腫へとつながります。一度破壊された肺の組織は元に戻ることはありませんので、早期の治療が重要です。主な原因は喫煙で、COPD患者さまの90%以上が喫煙に起因すると考えられています。老化も一因ではありますが、喫煙者は、非喫煙者に比べ3倍のスピードで進行するといわれています。また階段を上り下りするのに息切れがするなどの自覚症状があらわれる段階では、既にCOPDが進行した状態であることが多いのもこの病気の怖さです。



COPDの検査・治療

COPDは呼吸機能検査で診断します。肺活量などを調べるスパイロメトリーという検査機器を用いて、1秒間に吐き出せる空気の色や流速を調べます。正常な方は、はじめに勢よく吐き出され緩やかな曲線を描き流速が下がりますが、COPDの方は、急速に流速が下がっていきます。治療については、喫煙者は禁煙が必須です。すでにCOPDを発症している方でも禁煙することで呼吸機能低下速度を緩めることができます。その他には薬物療法として気管支

拡張薬で症状を軽減したり、運動療法で身体活動度の向上を図り、生活の質の向上に努めます。いずれにしても禁煙が必須で、禁煙をしなければその他の治療も効果が見込めません。



喫煙のリスク、罪深さ

禁煙がづらいとおっしゃる患者さまには、喫煙を続けることの怖さ、周囲への悪影響についてお話しています。喫煙を続け治療効果がないまま将来介護が必要になった時の苦しさは、禁煙のつらさなど比べ物にならないこと。ご本人だけでなく、呼吸管理を必要とする患者さまを介護する家族の負担の大きさなどについてもご説明します。また受動喫煙によりCOPDを発症するケースもあり、ご自身の喫煙が、家族等も病気の



リスクにさらしてしまう罪深さについてもお伝えし、治療・禁煙に前向きに取り組んでいただくよう努めています。

患者さまへの メッセージ

本文でもお伝えした通りCOPD (慢性閉塞性肺疾患) は、階段の上り下りや軽い運動で息切れが酷いといった自覚症状があらわれた段階では、病気が進行しているケースが多いです。安静にしていると症状があらわれな

い、治療が遅れる原因です。そのため健診などで呼吸機能に異常がみられた場合に、速やかに医療機関を受診することが大切です。ご自身とご家族の健康を守るために早期発見・早期治療に努めましょう。

TOPICS 馬場記念病院 呼吸リハビリテーションを実施

入院中に限らず、退院後にご自宅でも継続できる呼吸リハビリテーションを指導。

馬場記念病院4階の呼吸器・循環器病棟では、高齢の肺炎患者さまやCOPD (慢性閉塞性肺疾患) の患者さま等が入院しています。病棟には6名のセラピストが在籍しており、入院中に限らず、退院後のご自宅でも継続いただける呼吸リハビリテーションの指導を行っています。呼吸リハビリテーションには、次のような効果があり、QOL (Quality Of Life/生活の質) の向上につながります。

◆呼吸リハビリテーションの効果◆

- 息苦しさ・呼吸困難感が改善される
- 身体活動量を上げ体力強化することで生活範囲が広がる
- 急性増悪の予防につながる
- 入院期間の短縮につながる

<筋肉の柔軟性を保持するためのストレッチ>

呼吸に必要な筋肉や胸郭を柔軟にすると、息苦しさ改善され呼吸が楽になります。身近な道具・タオルを使ってできるストレッチをご紹介します。



●ストレッチ1

- 肩の高さに両腕を伸ばし、タオルの両端を掴む。
- そのままバンザイをするように腕を上げて、背筋を伸ばす。

●ストレッチ2

- 肩の高さに両腕を伸ばし、タオルの両端を掴む。
- 腕を伸ばしたまま、体を左右にひねる。

<身体活動量向上・筋肉増強を図るための運動>

軽度な運動を生活に取り込むことで呼吸に関わる筋力向上をめざします。筋力が向上すると、痰をうまく楽に排出できるようになります。

●立ち座り運動

- 椅子、ソファから立ち座りをゆっくり5回ずつ繰り返す。
- テレビを観ながら、CM中などに実践する。
- 日に数回実践することでトータルの身体活動量向上を図る。



TOPICS ペガサス福泉中央こども園 第一回運動会を開催

園児、保護者、約100名参加。
みんなで楽しんだアットホームな運動会。

令和4年10月8日、ペガサス福泉中央こども園では、開園して初めての運動会を園庭で開催しました。参加者は、0歳児から5歳児まで、医療的ケア児と健常児を合わせ29名。そこに保護者が加わり、総勢100名を数えました。

プログラムは、表現を入れながらの運動遊び、園児自作の乗り物競争、鳴子を鳴らしてキッズソーラン。そして、保

護者と一緒に挑戦するフルーツ狩り等など。園児たちが成長した姿を見ていただきました。

コロナ禍であることを配慮し、入場行進を取りやめ、保護者の人数制限など、感染予防徹底のため、いくつかの制約がありましたが、園児たちのやりたいことを最大限取り入れた運動会となりました。また、事前の準備には園児も参加し、みんな一緒になって創り上げることができました。

保護者の方々からは、「家では見られない姿を目の当たりにし、感動しました」というお言葉を多数いただき、職員一同、胸を熱くしました。今後も、温かいアットホームな運動会を行ってまいります。

